



都内自治体 SDGs 取組事例集



東京都政策企画局
2025年11月

第一部 公民共創

| | | | | |
|---|------|----------------------|-----------|---|
| 1 | 台東区 | SDGs教育旅行コンテンツブック | • • • • • | 3 |
| 2 | 品川区 | しながわSDGs共創推進プラットフォーム | • • • • • | 4 |
| 3 | 大田区 | 大田区SDGs認定制度 | • • • • • | 5 |
| 4 | 北区 | 北区SDGs推進企業認証制度 | • • • • • | 6 |
| 5 | 葛飾区 | 葛飾区SDGs宣言 | • • • • • | 7 |
| 6 | 町田市 | まちだSDGsアワード | • • • • • | 8 |
| 7 | 東村山市 | わたしたちのSDGsアイデアコンテスト | • • • • • | 9 |

第二部 普及啓発

| | | | | |
|---|------|---------------|-----------|----|
| 1 | 文京区 | 『文の京』のSDGs | • • • • • | 10 |
| 2 | 墨田区 | GO! GO! SDGs | • • • • • | 11 |
| 3 | 中野区 | なかのSDGsロゴマーク | • • • • • | 12 |
| 4 | 板橋区 | いたばしさんぽ | • • • • • | 13 |
| 5 | 足立区 | SDGsのほん | • • • • • | 14 |
| 6 | 江戸川区 | SDGsえどがわ10の行動 | • • • • • | 15 |
| 7 | 日野市 | ひのミラ | • • • • • | 16 |
| 8 | 東京都 | 東京都SDGsカードゲーム | • • • • • | 17 |

■ 概要

- 台東区が制作した教育旅行向けのプロモーション教材
- 修学旅行や校外学習を通じてSDGsを学べる体験を提供し、地域の文化や伝統を次世代に伝えることを目的としている

■ 内容詳細

- 台東区は、「江戸」の伝統や知恵を活かし、サステナブルな観点で学びや体験につなげる街として、持続可能な観光とSDGsに取り組む施設・店舗を支援している
- 東京都内の自治体として、学習指導要領に準拠した探究学習とSDGsを結びつけた教育旅行誘致用のプロモーション教材は先駆的な取組
- 台東区の公式ウェブサイトでPDF形式で無償公開されており、学校や旅行代理店などが自由に活用可能

■ 関連Webページ

- SDGs教育旅行コンテンツブック



〈教材の内容〉

教材は、コンテンツブックとワークシートの2種類 SDGsの理念に沿った内容で構成、学生が地域の課題や取組を学びながら探究学習することができる

1. コンテンツブック

- SDGsのテーマに関連した取組を行っている台東区内の16施設・店舗を紹介
- 各施設・店舗のストーリー、取組の内容、訪問時の情報（問い合わせ先等）が含まれており、旅行計画に使用しやすい形式
- 観光に関するコラムなど、若い世代が親しみやすい情報も掲載されており、まち歩きなどの回遊促進を図る内容

2. ワークシート

- 旅行の前・中・後の期間ごとに課題が設定されており、それを順にクリアしていくことで学びを深める

■ 概要

- 品川区が運営するSDGsの達成を目指す官民連携の取組
- 地域課題や行政課題の解決に向けて、多様なステークホルダー（企業、地域団体、行政等）が相互に交流し、情報共有を行なながら、自律的な取組を促進することを目的とする



■ 内容詳細

- 多様なステークホルダー同士がゆるやかにつながり、地域課題や行政課題の共有や意見交換などの活動を行う
- 持続可能な地域・社会づくりに取り組む企業や団体等を会員として登録し、区のウェブサイトへのロゴ掲載やメールマガジンの配信、会員同士の交流イベントを開催
- 専門部会（環境）を設置し、ゼロカーボンへ向けた取組を含む環境分野の課題検討等を実施

〈活動例〉

- 2025年2月3日に開催した第2回交流会では、区の所管部署による課題発表や、ウェルビーイング・SDGs推進ファンドを活用した事業など、産学官連携により解決していきたい課題や取組事例を紹介
- 「しながわシティラボ」と連携し、社会実装を目指す民間提案を募集し、実証実験の場を提供
- 区の財源だけでなく民間企業等から募る資金を活用した、「ウェルビーイング・SDGs推進ファンド」（実施主体：ウェルビーイング・SDGs推進事業実行委員会）と連携し、地域課題・社会課題を解決する企業・団体のプロジェクトへの支援 等

■ 関連Webページ

- [しながわSDGs共創推進プラットフォーム](#)

【大田区】大田区SDGs認定制度

■ 概要

- SDGsの達成に向けて取り組む区内企業を認定、支援する制度で、「SDGsおおたスカイパートナー」と「SDGsおおたゴールドスカイパートナー」の2種類の認定区分を用意

■ 内容詳細

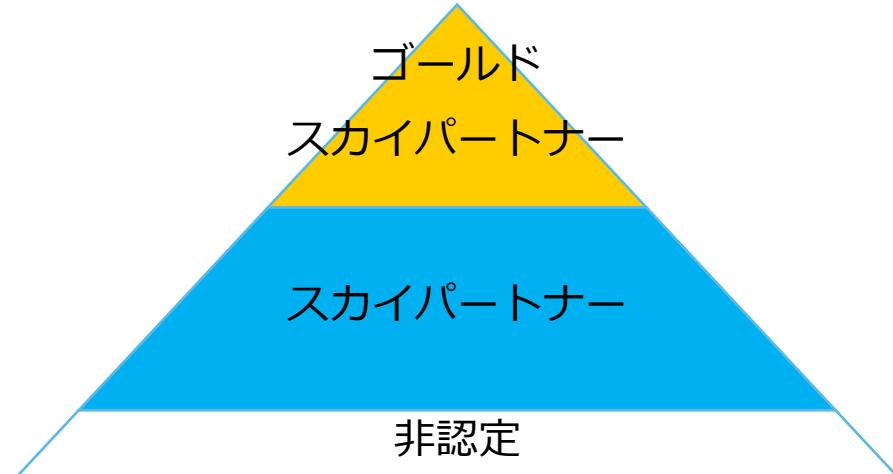
<SDGsおおたスカイパートナー>

- SDGsの達成に向けて取り組む区内事業者を認定する制度
- SDGsに取り組む意欲があり、申請要件を満たした区内事業者を認定

<SDGsおおたゴールドスカイパートナー>

- より積極的にSDGsに取り組む区内事業者を認定し、支援する制度
- 申請要件と認定要件チェックリストの認定基準を満たした区内事業者を認定
- 認定後、年度ごとに取組状況の進捗報告を実施

■ 各制度のインセンティブ



- 「大田区公民連携SDGsプラットフォーム」との連携（情報発信・事業者間交流）
- 「総合評価落札方式」の加点
- 区融資制度「SDGs・脱炭素推進企業支援資金」の限度額拡大
- きらぼし銀行による新たな融資商品の提供
- 認定証の交付
- 区HPで事業者名、取組内容等公表
- 大田区オリジナルSDGsロゴマークの使用

■ 関連Webページ

- SDGsおおたスカイパートナー認定制度・SDGsおおたゴールドスカイパートナー認定制度について



【北区】 北区SDGs推進企業認証制度

■ 概要

- ・ 北区がSDGsの理念に賛同し推進している企業等を「東京都北区SDGs推進企業」として認証する、東京都内初の認証制度
 - ・ 北区ゆかりの偉人である渋沢栄一の精神を受け継ぎ、事業者のSDGs取組を支援し、地域の活性化や事業者の継続的な発展につなげるとともに、社会課題の解決に寄与することを目的としている

■ 内容詳細

- ・ 北区内に本社や支店などの事業所を有し、北区内で事業を営む企業等が対象
 - ・ 自社のSDGsの取組状況を70項目のチェックリストを用いて確認し、SDGs達成目標としてSDGsの趣旨に資する自社の具体的目標を3つ以上設定
 - ・ 外部有識者等により構成される第三者機関による審査を経て、区長が認証
 - ・ 認証企業数は40社（令和7年10月時点）

■ 関連Webページ

- ## ・ 東京都北区SDGs推進企業認証制度



〈認証事例〉

- ・(株)ひとまいる(旧(株)カクヤスグループ) : サステナビリティ基本方針と6つのマテリアリティを策定し、環境配慮型の物流や廃食用油回収で循環型社会の実現に貢献
 - ・瀧野川信用金庫 : 電気自動車等の省エネ設備の導入、地域清掃活動への参加、金融教育授業の実施など地域社会の繁栄に向けた取組を推進



■ 概要

- 葛飾区内の企業・事業者団体に対して SDGs達成に向けた取組を促す制度
- SDGs達成に向けた目標を宣言した企業等に「SDGs宣言証」を発行し、取組内容を区ホームページ等で発信
- SDGsの理念を広め、地域の課題に対して区・事業者・住民等が連携して取り組むことを目的としている

■ 内容詳細

- 2022年7月1日から開始
- 宣言を希望する企業等が区に申請
- 宣言後、区から「SDGs宣言証」を交付
- 宣言団体は、区ホームページ等で取組内容から情報発信の支援を受けることができる
- 宣言を通じて、企業等は自社活動や地域活動を SDGs の観点で整理・強化でき、社会的な信頼や広報効果も見込まれる
- 区の人才確保・人材定着支援事業費助成の要件の一つとしている

■ 関連Webページ

- SDGs宣言



〈「SDGs宣言」例〉 株式会社オリタニ

- ハンガー・ハンガーラックの製造販売をしており、自社製プラスチックハンガーの回収・再資源化に取り組む
- 毎月の河川敷ごみ拾いや古切手・ペットボトルキャップの寄付など、有志でも活動している
- 社内に手作りのSDGs表を掲示し、個人のエコ活動を見える化。実践出来たら花をつけてモチベーションアップを図っている



【町田市】まちだSDGsアワード

■ 概要

- 一般社団法人町田青年会議所の主催、町田市との共催で実施している、SDGsの普及・促進を目的とした表彰制度
- 持続可能なまちづくりを推進する市民・企業・団体による優れた取組を評価・表彰

■ 内容詳細

- 2021年10月27日に締結された「町田市と一般社団法人町田青年会議所とのSDGs協働推進に関する協定」に基づく事業
- 地域での活動を可視化・顕彰することで、他の事業者や市民に対して「こういう取組があるという見本」を示す効果を狙う
- 地域の資源（里山環境など）を活かす視点を取り入れた、ローカルSDGsを推進
- SDGsの17の目標のうち複数の目標に関する社会・環境・経済の三側面で持続性や影響力があること、多様な主体との連携があること、地域への貢献が見込めるなどテーマに応じた評価基準を設定

■ 関連Webページ

- [まちだSDGsアワード](#)



〈直近の受賞例〉

- 2024年のテーマは「里山を活かした循環型ローカルSDGsの構築」。里山を保全・活用するアイデアを市民・団体から幅広く募集し、投票を通じて表彰
- グランプリを受賞した例：「萩生田牧場」による「小野路黒毛和牛食育プログラム」等。食育を通じて食の大切さを考える機会を提供し、また牛の堆肥を使った有機的な野菜栽培なども併せて行われており、里山の循環を意識した取組が評価

■ 概要

- ・ 東村山市主催の地域でSDGsを推進するためのアイデアを募集・発表するコンテスト
- ・ 「東村山市わたしたちのSDGs推進事業実行委員会」が主体となり、オンラインプラットフォーム「Liqlid（リクリッド）」を活用して、市民の参画を促進

■ 内容詳細

- ・ SDGsの目標達成に向けて、市内での取組や関心を高めるため、市民・事業者・次世代層などから「実現可能なアイデア」を幅広く募集する形式
- ・ 令和5年10～12月に行われ、493件の応募があった
- ・ 令和6年2月に開催されたコンテストの第2次審査では、一般部門（アイデアコース・事業実現コース）と次世代部門（小学生・中学生・高校生コース）の全5コースでグランプリが決定

■ 関連Webページ

- ・ [わたしたちのSDGsアイデアコンテスト](#)



〈グランプリ受賞例〉

- ・ 「SDGsおいもプロジェクト」：
 - 株式会社遠藤製餡 & こどもとおとの食育教室 ICHIGO-ICHIEが提案
 - 東村山市でかつて特産だった「さつま芋」を再び作付けする。農家・学校・福祉施設・製造業者などが協力し、「おさつあん」という製品を作り、販売までを実施する
- ・ 「学生が主体の地域活性化ボランティア団体」：
 - 高校生が提案
 - 地域の課題を解決するため、学生を中心となってボランティア活動を行う団体の設立を提案

【文京区】『文の京』のSDGs

■ 概要

- 文京区が作成したSDGsに関する取組をわかりやすくまとめたデジタル冊子
- 文京区がどのようにSDGsの17のゴールを区の各事業と結びつけているかを紹介

■ 内容詳細

- 文京区の最上位計画『「文の京」総合戦略（令和6～9年度）』に掲げる計画事業とSDGsとの関係を整理し、「主要課題とSDGsの17のゴールとの関係」を写真とともに例示。区の各課題がどのSDGsに対応しているかが可視化されている
- 区民・地域団体・事業者が、身近な事業を通してSDGsの考え方につれてることで、一緒に持続可能な未来を作るために作成
- 電子ブックを活用することで、地域でのSDGsへの理解を広げ、住民や事業者が自分のこととして捉えるきっかけにつなげる

■ 関連Webページ

- 「文の京」のSDGs



〈記載内容〉

- SDGsとは何か
- 文京区の取組
 - 区民・地域団体・事業者と連携して実施している具体事業やプロジェクト
 - 個人でも出来る取組を例示したコラム
- 「文の京」総合戦略との関係性
 - 各施策がどのSDGsゴールにつながるか、戦略に掲げる主要課題との関連を提示

【墨田区】GO! GO! SDGs

■ 概要

- 墨田区が推進するSDGsに関する啓発活動の一環で、子どもたちを対象とした参加型プログラム
- 墨田区の「すみだ子どもPR大使」を中心となり、区内で開催されるSDGsに関連するワークショップに参加し、その体験を通じてSDGsの重要性を学ぶ

■ 内容詳細

- 令和3年度に実施
- すみだ子どもPR大使がタレントの今井春花さんと一緒に、ワークショップ等を通してSDGsの取組を学び、子どもの視点で区民・広く社会にPRしていく企画
- すみだ子どもPR大使は、墨田区の子どもの視点から区の取組を発信する役割を持つ
- 子どもの視点からの学びと発信、地域でのSDGs意識の向上等が目的

■ 関連Webページ

- [すみだ子どもPR大使とは](#)
- [すみだ子どもPR大使のGO! GO! SDGs](#)



〈活動内容〉

- 子どもPR大使がSDGsに関する様々なテーマのワークショップに参加。子どもたちが楽しみながらSDGsについて学び、地域社会への関心を深める
- テーマ例：
 - 水の循環ワークショップ
 - 水の大切さやその循環について学ぶ
 - 星空観察ワークショップ
 - 自然環境とその保護の重要性を理解する
 - 森のタンブラーワークショップ
 - 自然素材を使ったものづくりを通じて、環境への配慮を学ぶ

■ 概要

- 中野区がSDGsの普及・啓発をより一層推進していくことを目的として作成した、区独自のロゴマーク
- 区民や区内事業者にSDGsの理念を広め、啓発活動を促進するために活用されている

■ 内容詳細

- ロゴマークは、学校法人東京工芸大学に在籍する学生が作成した4つの案の中から、選考により最も評価の高かった作品に決定
- 中野区全体が一体となってSDGsの取組を行っていくことを象徴するデザイン
- 中野区の公式ホームページ・各種広報物・なかのSDGsパートナー登録証などに活用

■ 関連Webページ

- [なかのSDGsロゴマーク](#)



なかの
SDGs

〈デザインの特徴・コンセプト〉

- モチーフはツツジ（中野区の区の花）
- 花びらの形は中野区のイニシャル「N」を象っており、その「N」の花びらが集まって一輪の花を形づくりことで、街や住民が協力し、つながり合って一つになる姿を表現している。
- 線幅に強弱をつけ、丸みのある形を用いることで、SDGsの取組を重く感じさせない、親しみやすい印象に仕上げている。

【板橋区】いたばしさんぽ

■ 概要

- 板橋区オリジナルのSDGsボードゲーム
- 板橋区の街や身近な暮らし・地域の取組を題材にし、楽しみながらSDGsを学び、地域と自分の暮らしとのつながりを実感することを目的としている

■ 内容詳細

- 「SDGsとは何か」「地域とSDGsがどう結びつくか」を体感的に「自分ごと」にする設計。「わかる」「きづく」「考える」という段階を重視
- 板橋区内の小学校・中学校・特別支援学校で教材として採用。2024年度から授業での活用が進んでいる
- 区役所・図書館・地域センターなど多数の公共施設、商業施設などで配布。公式サイトからのダウンロードも可能
- 展示・ワークショップの開催等イベントでの活用を通じて普及啓発も実施

■ 関連Webページ

- [いたばしさんぽ](#)



〈ボードゲームの内容〉

- 盤面は板橋区内の名所などが描かれている。
- サイコロを振って進む。
- 止まったマスにある「アクション」を実施。
- マスには、板橋区で実践されているSDGsの取組や、暮らしの中でできるアクション、協力して考えるミッションなどが含まれる。
- イラストは、板橋区にゆかりのある絵本作家・三浦太郎氏が担当。区の特徴である「絵本のまち」とのブランドコンセプトと結びついている。

【足立区】SDGsのほん

■ 概要

- 足立区が発行している区民や地域活動団体向けのSDGsを紹介する冊子
- 区がどんな事業をしているか、どんなモデルを実施しているかを区民に知つてもらい、地域でSDGsを推進する意識を高める内容

■ 内容詳細

- SDGsについてあまり詳しくない人にも、「そもそもSDGsとは何か」「なぜ必要か」をわかりやすく伝え、SDGsの理解を深める
- 「地域の人の声」「未来の足立はこんなふうになつたらいい」というアイディアを掲載し、行動例を示すことで、読者が「自分にもできること」を考えやすくし、住民参加を促す
- 「あやセンター ぐるぐる」で配布している他、PDF版も足立区のサイトで公開

■ 関連Webページ

- [SDGsのほん](#)



〈記載内容〉

- SDGsの基本知識
- 足立区が実施しているSDGsモデル事業の取組
- 地域の住民のインタビューや「未来の足立」のアイディア
- SDGsを日常生活で実践する具体的なアクション例
※冊子形式だが、内容の更新（追加・差替）がしやすいようにバインダースタイルになっている

【江戸川区】SDGsえどがわ10の行動

■ 概要

- 「SDGsって何をしたらいいの？」つい難しく考えてしまうSDGsを身近で簡単な行動として10個にまとめた行動指針
- 「10の行動」は日常生活の中で既に取り組んでいることやちょっとした意識で実践できる具体的な取組を示しており、SDGsを身近に感じ、区民の行動変容を促すための手段のひとつとしている

■ 内容詳細

- 「SDGsえどがわ10の行動」の普及・啓発活動として、ワークショップやセミナーなどのイベントも開催
- 「SDGsえどがわ10の行動」を楽しみながら1日で全て体験できるイベントとして、「SDGs FES in EDOGAWA」を開催
- 江戸川区広報サイトにて、月毎に1つの行動をテーマに区民が身近に取り組める事例を紹介したコラムを連載
- SDGsを感じてもらうことを目的に「SDGs Season」の期間中、区内各所で10の行動に即した関連イベントを集中的に開催

■ 関連Webページ

- [SDGsえどがわ10の行動](#)



ともに、生きる。
江戸川区

さあ、やってみよう!



『SDGsえどがわ
10の行動』

01

食品ロスを防ぐため、必要な量だけ買おう



02

健康的な食事をし、運動を心がけ、十分な睡眠をとこう



03

家事や育児、介護など参加しよう



04

電気も水も大切に使う



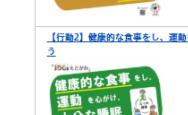
05

最新の科学や技術に興味を持ち、活用してみよう



06

一人ひとりの多様性への理解を深め、交流の機会を増やそう



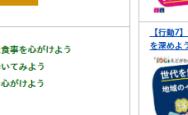
07

世代を超えて地域のイベントや防災訓練に参加し、絆を深めよう



08

とにかくリサイクルをしよう



09

みどりを大切にし、プラごみを減らして豊かな自然を守ろう



10

川や海に囲まれた江戸川区の歴史や文化、環境を学ぼう



【行動内容】

【行動1】 食品ロスを防ぐため、必要な量だけ買おう

【行動2】 健康的な食事をし、運動を心がけ、十分な睡眠をとこう

【行動3】 家事や育児、介護など参加しよう

【行動4】 電気も水も大切に使う

【行動5】 最新の科学や技術に興味を持ち、活用してみよう

【行動例】 (こんな行動が考えられます)

【行動1】 買い物に出る前に商品の在庫を確認しよう
● 買い物の前に商品の在庫を確認しよう
● ばかりや量り売りなどで必要な量だけ買おう
1kg 2kg 12kg 100kg

【行動2】 パンの取れた食事を心がけよう
● パンの取れた食事を心がけよう
● 一朝前に降りて歩いてみよう
● 規則正しい生活を心がけよう
3kg 5kg 8kg 17kg

【行動3】 家庭での自分の役割を決めてみよう
● 家庭で何ができるか話し合をしてみよう
5kg 8kg 17kg

【行動4】 使用していない家電のコンセントを抜いておこう
● 使用していない家電のコンセントを抜いておこう
● こまめに水をとめる意識をしよう
5kg 10kg 17kg

【行動5】 スマートフォンの機能を全て使ってみよう
● スマートフォンの機能を全て使ってみよう
● キャッシュレス決済などの技術を積極的に利用してみよう
4kg 9kg 17kg

【行動6】 一人ひとりの多様性への理解を深め、交流の機会を増やそう

【行動7】 世代を超えて地域のイベントや防災訓練に参加し、絆を深めよう

【行動8】 とにかく資源を正しく分別しよう

【行動9】 みどりを大切にし、プラごみを減らして豊かな自然を守ろう

【行動10】 川や海に囲まれた江戸川区の歴史や文化、環境を学ぼう

【行動6】 外出時や手洗い、点字など多様な表現方法に慣れよう
● 外出時や手洗い、点字など多様な表現方法に慣れよう
● 両手の人たちの良いところに目を向けてみよう

【行動7】 地域のみんなで積極的に地歩をしよう
● 地域のみんなで積極的に地歩をしよう
● 防災訓練に参加し地盤に震えよう
1kg 10kg 17kg

【行動8】 ごみや資源を正しく分別しよう
● 再生資源の利用やペーパーレス化を心がけよう
● マイバック・マイボトルを持とう
1kg 10kg 17kg

【行動9】 江戸川区の歴史・文化を調べてみよう
● 江戸川区の歴史・文化を調べてみよう
● 公園や親水公園で江戸川区の自然環境を学ぼう
1kg 10kg 17kg

(注) 各行動と関連の強いアイコンを複数しています。

【日野市】ひのミラ

■ 概要

- ・ 日野市を拠点に活動する高校生主体のSDGs推進プロジェクト
- ・ 正式名称は「持続可能な日野の未来を創る高校生チーム」
- ・ 高校生の視点で、日野市の地域課題や未来のあり方を考え、持続可能な社会を創るために取組を行う

■ 内容詳細

- ・ 2019年に日野市内の都立日野台高校と日野市、市民が連携して立ち上げ
- ・ 高校生が地域社会をフィールドに、探究的な学びを実践し、同時に高校生の活動をリアルな街づくりに繋げていくことを目指す
- ・ 活動は、学校の枠を超えて有志で行われ、地域や企業と連携して社会課題の解決に取り組んでいる。定期的なミーティングやイベントを通じて、メンバー同士や地域の人々との交流を促進

■ 関連Webページ

- ・ [ひのミラ](#)



〈活動内容例〉

- ・ SDGsをテーマにしたイベントの企画・運営
 - 例えば、「物々交換ぐるぐるマーケット～ものと思いの循環～」では、使わなくなったアイテムの物々交換を通じて、「モノとの付き合い方」を考えるきっかけを提供
- ・ 探究バスツアーの実施
 - 日野市内の歴史や産業、農業等を学ぶためのバスツアーを開催。地域の理解を深めている
- ・ SDGsに関するワークショップや講座の開催
 - 地域の子どもや大人を対象に、SDGsの理解を深めるための紙芝居や講座を実施

■ 概要

- 東京都政策企画局が提供する「SDGsカードゲーム」
- 参加者が区長又は市長となり、SDGsの達成に向けた施策を立案・実行する体験型のツール

■ 内容詳細

- SDGsの17の目標を達成するために、限られた予算と資源の中で最適な施策を選択し、持続可能な社会の実現を目指す
- 各施策が他の政策や社会全体に与える影響を考慮しながら選択することで、SDGsの複雑な相互関係を理解する。また、限られた予算内で最大の効果を上げるための戦略的思考が求められる。さらに、チームでのプレイを通じて、他者との意見交換や協力の重要性を学べる
- 令和5年度より、区市町村と連携しSDGsを主体的に学べる都民向けワークショップを開催し、カードを活用

■ 関連Webページ

- 都民向けSDGsワークショップ



〈ゲームのルール〉

- 20枚のSDGsカードの中から、区長又は市長として行いたい取組のSDGsカードを10枚選択
- カードを10枚選んだら、ポイントとお金の合計を計算
- 区長又は市長が使えるお金は100億円。10枚のSDGsカードの取組を行うためのお金が100億円を超えてはいけない
- ポイントが35点より低かったり、お金が100億円を超えてしまったときは、カードを入れ替える。このとき、ポイントとお金だけを気にするのではなく「区長又は市長としてのこだわり」を忘れないように取り組む